



# コンテ

# 2006.2

## 自然に増えるものと 自然に減るもの

新年を迎え、抱負を考えた方が多いことでしょう。弊社での新年最初の仕事は目標設定です。「今年、5年後、10年度、60歳」の時点でのそれぞれなりたい状態、ありたい姿、欲しいものを30項目づつ書き出すのです。全部で120項目になります。これを日々使用しているノートに貼り付けて、毎日

読み上げるのです。このことで目標達成の力を生み出すことができます。

さて、会社をこの1年でどのようにしたいかは、もちろん目標として掲げます。その際、自然に増えるものと、自然に減るものがあることを考慮しなければなりません。そしてそうならないように戦略を考える必要があります。

放置すると自然に増えるものは、「原価、経費、クレーム、ミス、不平不満等」です。また放置すると自然に減るものは、「売上、利益、信用、顧客満足度、

顧客等」です。

「経営とは、下りのエスカレーターを昇るようなものだ。ほんの少しでも気を抜くと下がっていつてしまう」とはグッドウィル折口雅博さんのことば。まさしくじっとしていると自らの意思とはうらはらに、増えたり、減ったり、上がったたり、下がったりしてしまいます。

しっかりと自らの羅針盤の示す方向に歩み続ける1年にしたいものです。

【降旗 達生】

## お客様の声

橋本螺子株式会社  
代表取締役社長 橋本秀比呂様

### ISO認証を目指そうとされた理由

社員が自分で考え、自らの能力を徹底的に鍛えその先には人間性向上をも目指す教育活動としようと考えました。そしてその結果、我が社のサービスの質もおのずと上がると考え、この事を経営方針の一つとして粘り強く全社員に説明してきました。

### 活動中の苦労された事、思い出に残る出来事

まずマニュアルづくりの際、私のイメージと幹部・品質管理責任者と隔たりがありました。形骸化を防ぐために、斬新なQMを作り思い立ちましたがこれは今後の楽しみとして、私の宿題として残しています。今後、ワイワイやりながら、社員みんなと楽しく世界に一つしかないマニュアルを作っていきたいと思えます。報連相活動、5S活動をもう一つの柱としました。報連相についてはベンチマークとする会社のビデオを、ISOの会議の前に全員で見、何度もルール作りを検討しました。5Sについては、徹底的にやりました。効率を考え抜いた配置計画、ミスを防ぐヤードシステム、どこに出しても恥ずかしくない状態となりました。

### 認証取得活動を終えて

終わりとは思ってませんが、外部の機関や外部審査員に認めて頂いたことが大きな自信になりました。これを期に業績アップを突き詰めていきます。

業界の慣習や習慣を突き破る大変情熱的な橋本社長でした。また、新しい発想と斬新なアイデア追求されている明るい社員様でした。浜松の気候のようにスカッと、業績アップを達成されますことを願っております。  
(インタビューー 三浦規義)

## 安全は健康から

朝礼やミーティングで社員さんに対して「皆さん、今日の調子はいかがですか。」と確認を行う会社が増えています。近頃では、もっと具体的に「眼が赤いようですが、どうしました?」とか「朝食はしっかり食べましたか?」「夕べはよく眠れましたか?」などと問かけるケースも増えています。

その日のスタートを切るに当たり、健康状態をチェックすることは非常に大切なことです。自動車でも始業点検を行い、不具合の有無を確認してから運転するように、クレーンにしてもフォークリフトにしても使用前に点検を行っています。

こうした点検によって、事故や災害を予防し、安全に作業ができるはずですが。いわば機械の使用前に健康チェックを行っていることとなります。したがって、決して災害があってはならない社員さんに対して、毎日の安全作業を期するために「始業点検」といもいうべき「作業前の健康チェック」を行うのは、当然のことと考えられます。

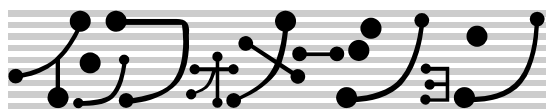
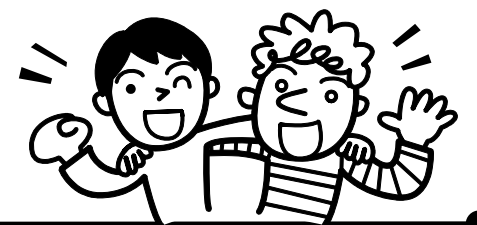
作業前の健康チェックの方法は、他の人から「どうですか」と問われる前に、まず自分から「今朝の体の調子はこんな具合です」と自ら申告したり、作業開始前までに健康カードにチェックして提出したり、職場に掲示してある大きな人体図の中の不具合箇所、名前のついたプレートを貼っておくなど、自分だけでなく他の人からも

健康状態の確認が行えるようにすることが大切です。このような「作業前の健康チェック」をすることにより、自分で体の調子が「いつもと違う」ことを知ること、また職場の仲間(上司)にも気づいてもらっておくことが、毎日の安全確保につながります。

「作業前の健康チェック」が行われなかったり、体調が悪くても休むことができない作業環境ならば、本人にとっても会社にとってもプラスになることはありません。人員に余裕がないとか、納期切迫などの理由で、社員さんに無理をして働いてもらうと、注意力が低下し、普段では考えられないような事故・災害を引き起こしてしまうかもしれません。

「安全は健康から」を常に朝礼等で唱え、社員さんに意識づけるとともに、事故や災害につながる要素を少しでも減らすために社員さんは作業をしない勇気、会社は作業をさせない勇気を持つ必要があります。

セントラル社会保険労務士法人  
西垣 太志



願書・申込受付が2月~3月の試験のご案内です。

資格名	願書受付	申込受付	試験日	問合せ先
1級土木施工管理技士	2月中旬~3月中旬	3月上旬~3月中旬	7月(学科) 10月(実地)	財団法人 全国建設研修センター tel:03-3581-0138 http://www.jctc.jp/
2級土木施工管理技士	2月中旬~3月中旬	3月上旬~3月中旬	7月	
1級建築施工管理技士	2月~3月	2月中旬~3月上旬	6月(学科) 10月(実地)	財団法人 建設業振興基金 試験研修本部 tel:03-5473-1581 http://www.kensetsu-kikin.or.jp/honbu/
技術士二次試験	3月~	4月上旬~4月中旬	8月(筆記) 12月(口頭)	社団法人 日本技術士会 tel:03-3459-1331 http://www.engineer.or.jp/

詳細は2月頃公表予定です。各問合せ先にお問い合わせ下さい。